

### 事例3 学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現

#### 「イ 社会参画意識の醸成や勤労観・職業観の形成」の事例

- 学年 第2学年
- 主な内容 働く理由について考えることの指導
- 事例のポイント
  - ①小中連携を意識してキャリア・パスポートを活用する。
  - ②活動を効率的に進めるためにICT機器を積極的に活用する。
  - ③他者の意見と自分の意見を比較検討し、考えを深めることができる機会を確保する。

#### 1 題材 「働く理由」

#### 2 生徒の実態と題材設定の理由

本学級の生徒は、小学校低学年では街探検活動において、身近な仕事に就いている大人について学び、中・高学年ではインフラ施設や自動車工場の社会科見学及び伝統工芸のものづくり体験などを通して、職業及び仕事についての理解を深めた。中学校1学年での進路・キャリア学習では「職業理解」をねらいとし、総合的な学習の時間とリンクさせて、興味のある職業についての調べ学習や、職業新聞づくり、調べた職業についての発表（プレゼンテーション）に取り組んだ。

本時の事前アンケートの結果では「大人になったら働かなければならないこと」を「知識」として理解しているが、「なぜ働かなければならないのか？」という疑問に対しては「お金のため」という考えをもっている生徒が多いことが分かった。

本題材では、小学校で学んできた内容をさらに発展させていくことを意識して指導を行う。これまでの積み重ねを意識できるよう、本題材ではキャリア・パスポートを活用する。その上で、事前アンケートの結果を生かして、「なぜ働くのか」という本質的な問いに、学級での話し合いを通してより深く考えられるようにしていく。また、働く意義、働く理由の多様さを理解できるようICT端末を活用して、グループの考えを共有していく。こうした学習活動を通して、社会体験活動への意欲を高めていきたい。

#### 3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことの意義を理解している。 現在の学習と将来の社会・職業生活とのつながりを考え、自分らしい生き方の実現を図るために、必要な知識及び技能を身に付けている。	自分らしい生き方の実現に向け、現在の学習や将来の進路についての課題を見いだしている。 主体的に学習に取り組み、働くことや社会に貢献すること、自己の将来について、適切な情報を収集して考え、意思決定して実践している。	将来の生き方を見通したり、現在の生活や学習を振り返ったりしようとしている。 働くことと学ぶことの意義を意識し、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

#### 4 事前の指導

生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
身近な大人へインタビューをする。	・インタビューを通して、進路学習への関心・意欲を高められるようにする。	◎進んでインタビューに取り組もうとしている。 【態】(インタビュー用紙)


働く大人へのインタビューの結果（一部抜粋）				
インタビュー対象者の職種	・会社員（営業） ・事務職員 ・販売員 ・会社役員 ・エンジニア ・小学校教員 ・介護士 ・看護師 ・幼稚園教諭 ・スポーツインストラクター			
その仕事で働く理由	・家族を養うために働く ・仕事にやりがいがある ・自分の専門性が活かせる ・社会に貢献する ・お金を稼ぐ ・社会の一員としての義務			
編 P186 指導計画作成の留意事項(4)				
働く理由について、事前アンケートに答える。	・アンケートを通して、働くことの意義についての自分の考えを振り返り、本時の学習への意欲を高める。	◎自らの考えを振り返ろうとしている。【態】（ICTアンケート集計ツールへの記述内容）		
「働く理由」のアンケート（一部抜粋） 調査人数 30人				
アンケート項目	はい	いいえ		
①将来就きたい職業がある	10	20		
①で「はい」と答えた生徒が希望する職業	・プロスポーツ選手 ・会社員 ・医師 ・教師 ・看護師 ・技術者（エンジニア） など			
②働く理由として考えていること（複数回答）	金銭	27	奉仕・社会貢献	12
	名誉	2	人との繋がり	15
	自己の向上	13	特技を活かしたい	10
	その仕事が好き	15	その他	0
事例のポイント② 生徒がICT端末を使ってアンケートを入力、管理ツールを活用し集計をする。				
事前アンケート 問題1 将来、就きたい職業はありますか？ <input type="radio"/> ある <input type="radio"/> ない 問題1-2 問題1で「ある」と答えた人だけ回答してください。 あなたの就きたい職業は何ですか？				

## 5 本時の指導

### (1) ねらい

働くことの意義について、話し合いを通して多様な意見があることを理解し、自らの考えをより深めたり、新たな価値を取り入れたりすることができるようにする。

### (2) 展開

	生徒の活動	指導上の留意点	資料	◎目指す生徒の姿【観点】（評価方法）
導入 10分 つかむ	1 アンケート結果や事前インタビューの集計結果をもとに、本時の内容を理解する。 2 本時のめあてを知る。	・アンケート結果やインタビューの集計結果、キャリア・パスポートを提示し、本時のねらいをつかめるように指導する。	・アンケートおよびインタビューの集計結果 ・キャリア・パスポート	
	小学校の時は、今の希望とは異なる職業に就きかけたことを思い出しました。		事例のポイント① キャリア・パスポートを活用し、小学校からの学習の積み重ねを意識づける。	
	「人が働く理由」について考えよう。			

展開  
30分  
さぐる

3 働く理由を選択肢の中から三つ選び、そのように選んだ理由を入力する。

事例のポイント②  
考えを生徒用ICT端末に入力して、共有しやすくする。

課題 働く理由を3つ選び、その理由を考えよう

理由

(ここに入力できます)

コバトン 一番大事

A 経済 B 奉仕 C 名誉 D 人間関係  
E 成長 F 個性 G 興味 H その他

・ICT端末を操作し、理由を選択肢の中から三つ選び、最も重要と考えるものを指定された場所に入力させる。ドラッグアンドドロップ機能で、短時間で入力できるように設定する。

・ICT端末



経済(お金を稼ぐこと)は大事だから1番に決めたけど、2番目、3番目はどれを選ぶか迷います。

4 小グループで働く理由について話し合う。

・3人(または4人)グループにして、それぞれのグループ内で意見を発表し、考えを交流する。その後、自分の考えと比較したり、発表者に質問などをしたりすることで考えを深める。



事例のポイント②  
意見を一斉表示して、他者の考えと自分の考えの比較が容易にできるようにする。

・仕事を通して自分を成長させたから。  
・お金をもらえないと、生活していけないから。  
・自分の好きなことをして、仕事を楽してみたいから。

5 働く理由について、全体で話し合う。

編 P186 指導計画作成の留意事項(2)

・全員の意見を画面一斉表示し、多様な意見があることを理解する。数名の生徒の意見を取り上げ発表させて、考えをより深めることができるようにする。  
・結果を変えた生徒、変えなかった生徒がそれぞれ、なぜそのような考えをもったのか発表する。

事例のポイント③  
全体の話し合い結果を参考に考え直す機会を設けることにより、他者の意見と自分の考えを比較検討し、自らの意見をより深められるようにする。



みつける

6 働く理由について、再度、考えや意見を示す。

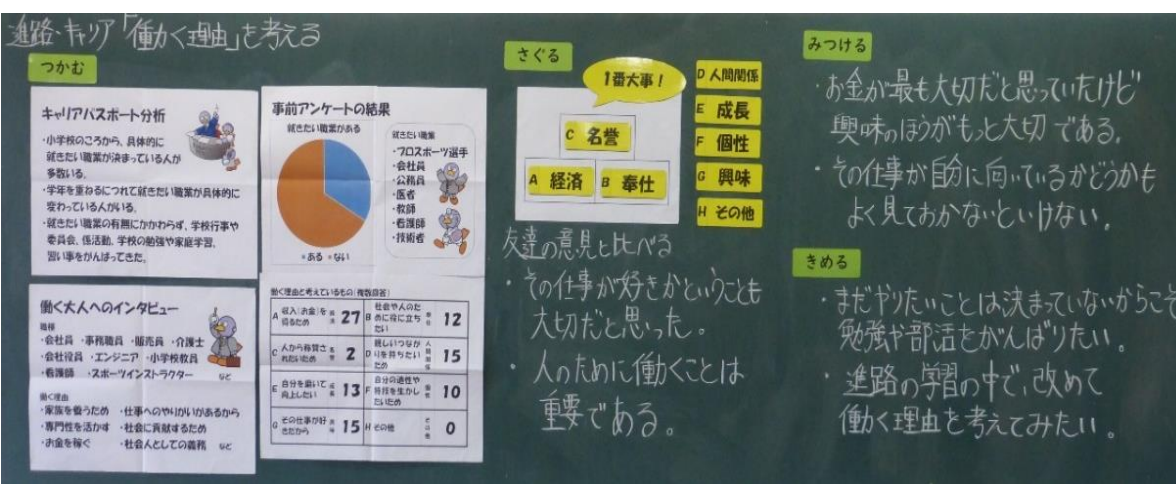
理由 (変えた理由 or 変えなかった理由)  
周りの話を聞いてどれだけ楽しい仕事でも周りに相談できる人はほしいと思うし人間関係が悪かったらその仕事を心から楽しむことはできないと思う。

理由 (変えた理由 or 変えなかった理由)  
他の人の意見も納得するものだけど、興味のある仕事とかをやったほうがやりがいがあるから。



終末 10分 きめる	7 本時の内容を振り返り、これからの活動についての意思決定をする。	・話し合いの中で出てきた意見をもとに、働く理由についての自分の考えをまとめる。	・ICT端末	◎職業選択には、各自が考える働く理由が重要であることを理解している。 【知・技】 (ICT端末) ◎話し合ったことを生かして今後の活動に向けて具体的な意思決定をしている。 【思・判・表】 (ICT端末)
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%;">  <p>今日のまとめ (わかったことや気づいたこと) <b>働く理由は人それぞれで、お金はもちろん大切だけど、人のために働くことや、自分の理想を実現させるために働くことも大切だと思った。</b></p> <p>今後の活動に向けて頑張っていきたいこと <b>今の時点では就きたい職業がはっきり決まっていないからこ、いろいろな教科の学習に真剣に取り組んでいきたい。</b></p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>今日のまとめ (わかったことや気づいたこと) <b>働く中で、お金を稼ぐことは大切だと思うけど、それ以外にも自分が楽しく働けるか、自分の成長に繋がるかということも大事だと思った。</b></p> <p>今後の活動に向けて頑張っていきたいこと <b>興味のある仕事である、小学校教員の仕事に就くことに近づくためにも、日々の勉強や部活動に真剣に取り組んでいきたい。</b></p> </div> </div>	・現在の社会情勢（職業の多様化や転職数の増加など、職業の流動化が顕著になっていること）に触れ、職業決定において、働く理由が重要であることをおさえる。		

板書計画



**つかわ**

**キャリアサポート分析**

- 小学校のころから、具体的に就きたい職業が決まっている人が多数いる。
- 学年を重ねるにつれて就きたい職業が具体的に変わっている人がいる。
- 就きたい職業の有無にかかわらず、学校行事や委員会、佳活動、学校の勉強や家庭学習、習い事をがんばってきた。

**事前アンケートの結果**

就きたい職業がある

就きたい職業	人数
プロスポーツ選手	1
会社員	1
公務員	1
医者	1
教師	1
看護師	1
技術者	1

ある・ない

ある 12  
ない 15

**働く大人へのインタビュー**

職種

- 会社員 事務職員 販売員 介護士
- 会社役員 エンジニア 小学校教員
- 看護士 アホーインストラクター

働く理由

- 家族を養うため
- 仕事へのやりがいがあるから
- 専門性を活かす
- 社会に貢献するため
- お金を稼ぐ
- 社会人としての義務

**働く理由と考えているもの(複数回答)**

A 収入・お金を稼ぐため	27	B 社会人としての責任	12
C 人の役に立つこと	2	D 親しい人がいること	15
E 自分を楽しみたい	13	F 将来をまかすこと	10
G その他	15	H その他	0

**さぐる**

1番大事!

名譽

A 経済 B 奉仕

友達の見え比べ

- その仕事が好きかということも大切だと思った。
- 人のために働くことは重要である。

**みつける**

お金が最も大切だと思っていたけど、興味のほうがも大切である。

その仕事が自由に向いているかどうかよく見てあかないといけない。

**きめる**

まだやりたいことは決まっていなくても勉強や部活をがんばりたい。

進路の学習の中で改めて働く理由を考えてみたい。

## 6 事後の指導

生徒の活動	指導上の留意点	◎目指す生徒の姿 【観点】(評価方法)
<ul style="list-style-type: none"> <li>社会体験活動の目標を決める。</li> </ul> <p>編 P186 指導計画作成の留意事項(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の意思決定した結果を、社会体験活動の事前指導時に生徒に提示し、活動を最後まで真剣にやり遂げることができるよう意識付けする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎学んだ知識を意思決定に役立てようとしている。</li> <li>【態】(観察、目標用紙)</li> </ul>
<p><b>【社会体験活動の目標例】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が希望したせんべいづくりでの職業体験ができないので正直嫌だなど思っていたけど、コンビニエンスストアに商品を買いに来てくれるお客さんの役に立てるように、活動に真剣に取り組みたい。</li> <li>働く理由を授業で考えたことで、職業体験への興味がより高まった。ファミリーレストランで働くことを通して、自分が働く理由を改めて考えたい。</li> </ul>		